

✿ 全国に向けて田沢湖の旬はをお届けします!✿

# のはちみつ屋新聞

No.39 夏号 2015年6月

発行 有限会社 ビースケップ

## ごあいさつ

空には大きな白い雲…

暑いけれど爽やかな

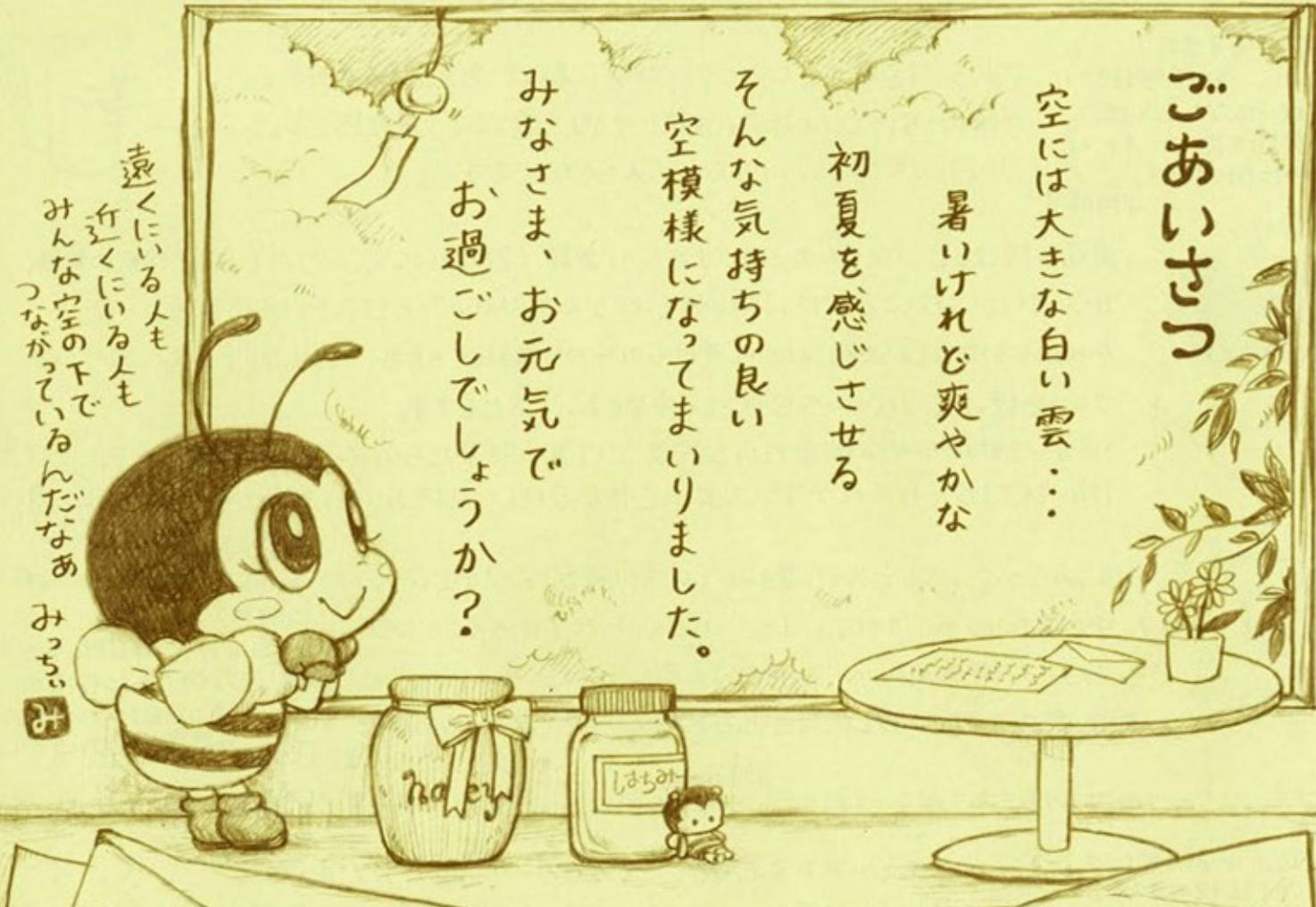
初夏を感じさせる

そんな気持ちの良い

空模様になってまいりました。

遠くにいる人も  
近くにいる人も  
みんな空の下で  
みんながっているんだなあ  
みつみ

みなさま、お元氣で  
お過ごしでしょうか?



## 夏のごあいさつと贈り物

### 『暑中お見舞い』

また、暑中お見舞いの起源は江戸時代なのだそう。

昔は1年を2期にわけ、始まりをお正月とお盆という風に考えていたので、その時期にあわせ武家仲間・親戚・ご近所の家などにあいさつ回りをしていました。(なんと元旦から1月末まで、1ヵ月間あいさつ回りをする人もいたとかなんとか…熱いじだね!) 遠方のお屋敷まで訪問できない身分の高い人たちは、飛脚便などを使って書状や贈り物をしました。

時代は変わっても人を思いやる気持ちは変わらない、人情味あふれる素晴らしい日本文化だと思います。普段なかなか会えない人と心通じるきっかけにもなる季節。

『お元気ですか?』『あのときはありがとう』 あの人へのひとことを、この夏にぜひ。

## 『お中元』

お中元は元々、火を焚いて先祖の冥福を祈り供養する中国の「盂蘭盆会(うらぼんえ)」からきており、その先祖を敬う行事が日本では、お世話になつた人に感謝や尊敬の気持ちを表して贈り物をする今の形になつたことされています。また、お世話をこなつた人あてだけではなく、大好きな人に親愛の情を込めて物を見舞つたりと、人と人とのお付き合いの分だけ、時代と共にその形は少しずつ変化しています。

ほそたち  
わたしたちの  
みつ SAI



~山のはちみつ屋  
養蜂部の活動記録~



今年もまたおいしいはちみつが採れる季節…養蜂部の朝は早い。

ミツバチたちは人間と同じく、日中は蜜集めの仕事でふんぶん飛び回っていますが夜は寝静り大人しくなっているので、そこを見計らい、朝日が昇りきらないうちに隊員たちは動き出します。

午前4時半集合。

ちなみに僕は2時起きです。空がうっすら明るくなるころに蜂場に着いて、色々な道具を手際よく会社でみんなと合流して巢箱を置いた場所に向かいます。

平岡隊員



巢箱を開けると、たくさんの中にはたくさんのミツバチたち…！巢箱は2段組になっており、中には計18枚の巣板が入っていて、1枚に2000匹、1箱の中にはなんと36000匹も住んでいるのだそう…！それが蜂場には50箱ほど…。それらの中から巣板を順番に取り出して上下に振り、ハチブラシを使ってミツバチたちをやさしく手早く払い落とします。…が、これがなかなか重たいと大変な作業！隊員たちの根気と体力勝負です。1箱、そして1枚それぞれがずっしりと…これがうれしい、はちみつたっぷりの重さ。

誠志隊員

最前線の私たちには手や腕が刺されてしまはずんばんに疲れてしまいます。



金今木隊員

ちなみに蜂五郎隊長はミツバチたちに日焼けの愛情が伝わっているのか不思議と刺されません。



このはちみつがたっぷりと入った巣板には、薄い膜状のフタがしてあります。中のはちみつがこぼれないようミツバチが作った、いわゆるミツロウです。採ってきた花の蜜の水分を羽で「ぶんぶん」とぱし、ぎゅ～～～と濃縮！熟成させたはちみつを毎日せっせと貯め込んでくれています。

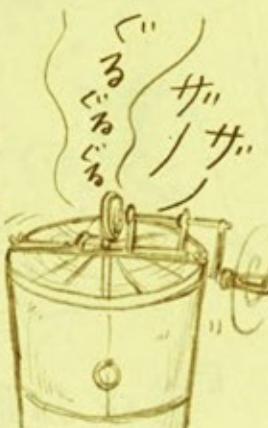
アーチ  
ブン  
ブン

さて、(はちみつの溜まり具合を1枚ずつ確認し、このフタを蜜刀でそぎ落としてから遠心分離器へセットします。

この遠心分離器には1度に6枚の巣板をセットすることができます。簡単そうに見えますが實際は回すのに遠慮なく速さと力がかかる必要があります。



セットしたらレバーをまわしていくぐるぐるぐる…!! 遠心力で巣板の中からはちみつが飛び出してくれるのです。このとき、遠心分離器の側面にはちみつが当たる「ザー、ザー」という音と、漂ってくるはちみつの香りは豊作の証。隊員たちもにっこりうれしくなるのでした。



採蜜の作業があわり、すっかり日も明るくなった頃、養蜂部は蜂場から山のはちみつ屋へと帰ってきます。そして外のテラスで気持ちの良い自然の中、買ってきたお茶とパンと、しばりたてのはちみつをみんなで(づくり…！一汗かいだ後の、新鮮な甘さが体に沁み渡ります。



おいしい  
はちみつが  
採れました！  
感謝！！

今年も  
ミツバチと  
社員に  
支えられて

# 【ぼくらの蜂場に】 ご案内!!

ダス!!

蜂場には一ヶ月ほど巣箱を置いておき、その年の天候にもよりますが、大体2~3回ははちみつを採ることができます。蜂場一帯の花の時期がおわると、盛りの花を追いかけてさらに別の標高の高い場所へ巣箱を移動させ、はちみつを採り続けるのです。花の咲きおわりとはじまりを見極め、巣箱の移動を決断するのも、蜂五郎の大変な役割です！

最前線で巣箱からはちみつの溜まった巣板を取り出し、回収していく隊員たち。



## 巣箱 すばこ

ミツバチたちの木造2階建てアパート  
女王バチと働きバチ♀とオスバチ♂が住んでいます。  
オスは本当にごくわずかで中はほとんどのメスばかり!!

## 回収してきた巣板

からミツロウのフタを切り取り、遠心分離器ではちみつをしぼり取って一斗缶にうつします。

新入社員も勉強のため、必ず一度は養蜂部に参加させると!!

(はちみつ屋の通過儀礼だね!)



## 面布 めんぶ

ネットのついた帽子で、ミツバチの針から顔や首元をガード!  
首にタオル・手元は厚手のゴム手袋など、とにかく刺されないようにフル装備です。

分離器 ぶんりき  
手動でハンドルをまわし回転させて、中にセットした巣板から(はちみつをしぼり)る機械です。



## 養蜂部 Bee Keeping Tool

### 蜜刀 みつとう

ミツバチがフタをした巣板からそれをせかり耳取るための道具です。フタはミツロウ(ロウ分)でできているので、蜜刀を温めて溶かすように使います。

ハチブラシ このブラシを使い、巣板からミツバチたちをササッと優しく払います。

### 燐煙器 くんえんき

白く冷たい煙を出すようにして、ミツバチたちをおとなしくさせる道具です。

### ハイフリーリー

巣板を巣箱から引き上げたり、ミツロウをかきとるときなどに使います。

### 蜜こし

分離器でお蜜したはちみつに紛れ込んだ巣のかけらや不純物をこすものです。

東北の心はひとつ、さらに前へ。 2015年5月30日(土)・31日(日) 秋田開催

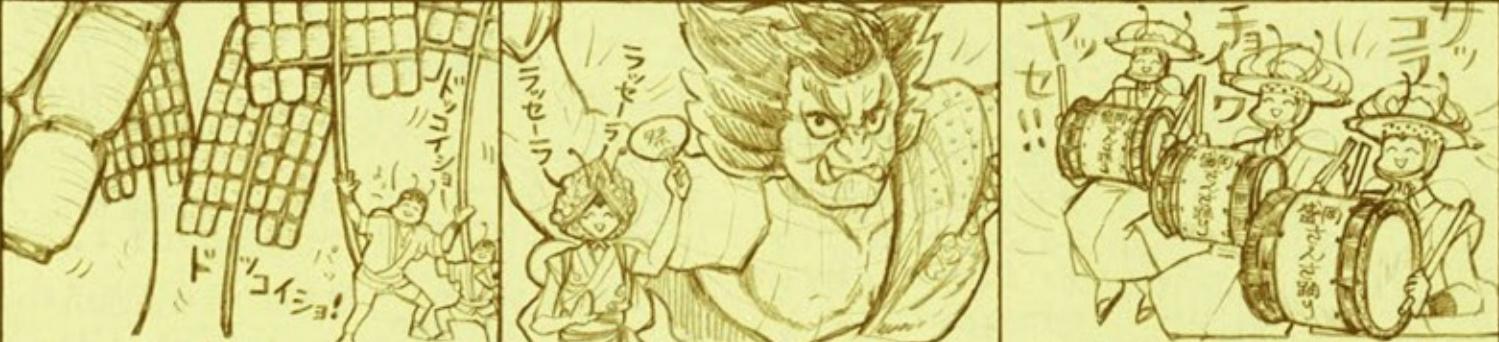
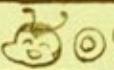


# 東北六魂祭

県12題字を書いたのは当時  
道家・高橋卓也さん。  
本人の温かい人柄を表す  
比人の強さと柔らかさが  
よく思えます。

東日本大震災から4年。2011年3月11日に発生した震災の鎮魂と復興を願って、東北の6祭り・6県の思いがひとつに集まる、いまや東北の一大イベントとして定着してきたお祭りです。仙台市、盛岡市、福島市、山形市。そして2015年、東北六魂祭の舞台は秋田市でした。この秋田開催にあたって、六魂祭で初めて竿燈の提灯に火灯りがともされました。開催の度、祈・希・福・起と毎回テーマを掲げて開催されてきた東北六魂祭。今年のテーマは…「輝」。どこまでも高く力強く立ち上がり、夕闇の中を優しく照らし輝く竿燈のように、どこまでも伸びていく東北の希望や実りが感じられる祭りにしたいという願いを込めて。今年も、そしてこれからも東北のころはひとつです。

## 東北の6祭り一挙特集!! 東北のアツい夏祭りツアエ!! 2015



秋田竿燈まつり 8/3~6 in 秋田市  
竿燈全体を稻穀・連なる提灯を米俵に見立て  
五穀豊穣や無病息災、芸上達を祈ります。  
重さ50kg・高さ12mもの巨大竿燈を額や肩や  
腰にのせて巧みに操る力強いやり技は必見!

青森ねぶた祭 8/2~7 in 青森市  
武者や歌舞伎を題材にし、勇壮華麗な大型灯籠  
人形をのせてねぶたと呼ばれる山車。そして囃子  
と吹き手、周りで踊りはねるハネットの大団圓が  
一体となる、エネルギーがあふれます。

盛岡さんさ踊り 8/1~3・4 in 盛岡市  
太鼓・笛・踊りの3パート構成の団体が豪華に舞  
いながらパレード! 年々参加人数が増え、太鼓の数は  
1万個を超えてるので、「日本一大太鼓パレード」としてギネスの世界記録にも登録されました。



仙台七夕まつり 8/6~8 in 仙台市  
伊達政宗公の時代から続く、日本一大の七夕  
まつり。日本古来の星祭りの傳習などと  
竹ででききた色鮮やかな七夕飾りで街中が  
埋め尽くされる、豪華絢爛なお祭りです。

山形花笠まつり 8/5~7 in 山形市  
華やかに彩られた山車を先頭に、あでやかな衣装とあ化粧が美しい踊り手たちが一斉  
に踊り行進します。山形の花・紅葉をあしらった笠の波と威勢の良い掛け声が「ダイナミック!」

福島わらじまつり 8/1~2 in 福島市  
古来より健脚を競い、長さ12m・重さ2トンで日本  
一大といわれる大きさの大わらじを奉納するお祭り。  
わらじ音頭にあわせて踊ったり山車を引いてタイム  
を競うわらじ競争などのイベントを行われます。

この他にも、東北の活気と魅力をあふれるお祭りがいくつもあります!! もちろんこちらで季節ごとに紹介されています。ぜひ遊びに来て下さいねー!!

東北まつりネットワーク 検索

最後まで読んで下さり、ありがとうございました! 合  
凶のはちみつ屋新聞39号はいかがでしたか? 中の  
ページで私たちのはちみつ屋の採蜜の様子をざっくりと  
ご紹介させて頂きました。大変なことも多々あり、それだけ  
おいしいはちみつがお采れるのでした。(はちさんあり)がとう!  
店舗限定のプライベートでは、分離器を使ってのはちみつ  
(はみつ)体験を行な予定です。是非遊びにきてね! もちい

### 編集後記

山のはちみつ屋のお客様も、東北の方がたくさんいら  
っしゃいます。その中で、悲しい思い・つらい経験をされ  
、いまも大変な思いをされている方もいらっしゃると思います。  
こちらががえって励ますされるシーンも数々あるので  
ですが、その分私たちスタッフもお客様に寄り添って樂し  
い思い出を作れて頂けるように、そして元気にになって  
頂けるように、笑顔で頑張って参ります。 蟹五郎

山のはちみつ屋新聞発行 山のはちみつ屋とお菓子工房 & ピーサ工房 (有)ビー・スケップ。

フリーダイヤル オー!みつはちみつのはい  
0120-038-318

HP <http://www.bee-skep.com>  
MAIL bee@bee-skep.com

FB フェイスブック  
Twitter

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字石神 163-3

ツイッター  
イベント情報  
香川信中